



2020年6月30日

各位

リニューアブル・ジャパン株式会社  
東急不動産株式会社  
ENEOS株式会社  
関西電力株式会社

「合同会社長期安定電源ファンド」の設立について  
～国内再生可能エネルギー電源の拡大を志向する4社の連携～

リニューアブル・ジャパン株式会社、東急不動産株式会社、ENEOS株式会社、関西電力株式会社の4社は再生可能エネルギー電源の拡大・運営を目的とした「合同会社長期安定電源ファンド」（以下「本ファンド」）を設立し、本日、本ファンドへの各社の出資が完了しましたので、お知らせいたします。

ESG投資<sup>※1</sup>の広がりやRE100参画企業<sup>※2</sup>の増加などを受け、再生可能エネルギーの重要性・期待は国内のみならず世界的に一層高まっております。

そのような中、再生可能エネルギー電源の開発を全国で進めてきた4社は、各社がこれまで培ってきた知見・専門性を活用して効率的に再生可能エネルギー電源の拡大に取り組むべく、本ファンドを設立いたしました。

本ファンドの取組みを通じて4社が投資を進めることで、競争力の高い再生可能エネルギー電源を拡大し、長期安定的に事業を推進していくこととしており、取得する再生可能エネルギー電源の総資産額は、4,000億円を目標としております。

4社は、今後も再生可能エネルギー事業の発展を通じて、低炭素化社会の実現に貢献してまいります。

※1：従来の財務情報だけでなく、環境・社会・ガバナンスも考慮した投資

※2：使用電力を100%再生可能エネルギーにすることを目標に取り組んでいる企業

以上

別紙：「合同会社長期安定電源ファンド」の概要について

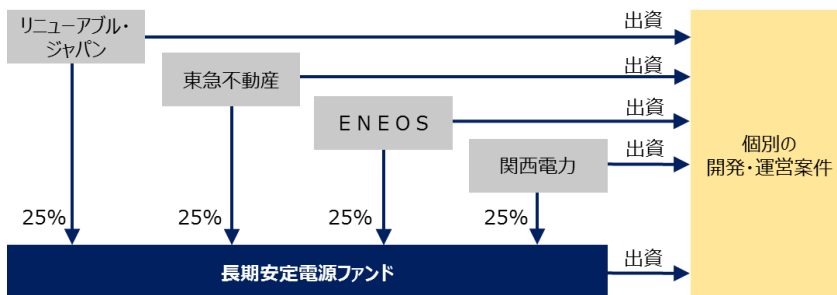
## 「合同会社長期安定電源ファンド」の概要について

## 1. ファンドの概要

ファンド名	合同会社長期安定電源ファンド
設立	2020年3月
出資額	4億円（各社1億円）
目標総資産	4,000億円
投資対象	日本国内の再生可能エネルギー発電所（主に太陽光発電所）
基本理念	日本国内の再生可能エネルギー発電所の長期安定的な運営による低炭素社会実現への貢献

## 2. 投資スキーム

ファンドに対して4社が出資し、そのファンドを通じて開発した競争力の高い再生可能エネルギー電源に対して、4社が個別に出資をするものである。



## ●参加する各社の概要

## リニューアブル・ジャパン株式会社

設立	2012年（平成24年）1月
代表者	代表取締役社長 眞邊 勝仁
所在地	東京都港区虎ノ門1丁目2番8号
事業概要	再生可能エネルギー発電事業、金融商品取引業、特定建設業

## 東急不動産株式会社

設立	1953年（昭和28年）12月
代表者	代表取締役社長 岡田 正志
所在地	東京都渋谷区道玄坂1丁目21番1号
事業概要	都市事業、住宅事業、ウエルネス事業、海外事業

## ENEOS株式会社

設立	1888年（明治21年）5月
代表者	代表取締役社長 大田 勝幸
所在地	東京都千代田区大手町1丁目1番2号
事業概要	石油製品（ガソリン・灯油・潤滑油等）の精製および販売、ガス・石炭の輸入および販売、石油化学製品等の製造および販売、電気・水素の供給

## 関西電力株式会社

設立	1951年（昭和26年）5月
代表者	代表執行役社長 森本 孝
所在地	大阪市北区中之島3丁目6番16号
事業概要	電気事業、熱供給事業、電気通信事業、ガス事業等